

別記様式（第3条関係）

会 議 録（1）

会議の名称	令和4年度 第1回桶川市いじめ防止連絡協議会
開催日時	令和4年7月22日（金） （開会）午後2時30分（閉会）午後3時50分
開催場所	桶川市役所 会議室402
主宰者の氏名	
議長の氏名	
出席者氏名 （委員）	教育部長、秘書広報課長、安心安全課長、 桶川市立小中学校長会長、中央児童相談所長、 桶川市PTA連合会長、桶川市青少年問題協議会委員
欠席者氏名 （委員）	子ども未来課長、保育課長、人権・男女共同参画課長、 生涯学習・スポーツ推進課長、上尾警察生活安全課長
説明員氏名	
事務局職員 職名及び氏名	学校支援課長 教育部副参事
会 議 事 項	議 題
	1 委嘱状の交付
	2 開会
	3 会長あいさつ 教育部長
	4 委員紹介
	5 副会長選出
	6 協議等 （1）いじめ防止対策推進法について （2）いじめ防止対策推進法に基づく桶川市の取組 （3）桶川市等のいじめに係る現状 （4）いじめ防止への取組（各課および機関より情報提供） （5）いじめ防止に向けた啓発と研修について （6）その他
7 閉会	
決定事項等	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員名簿、座席表 ・いじめ防止連絡協議会等条例 ・知っていますか「いじめ防止対策推進法」 ・いじめ防止対策推進法（概要） ・いじめ防止連絡協議会規則 ・学校いじめ防止基本方針（桶川市立桶川東小学校） ・桶川市いじめ防止等基本方針 ・学校の生活アンケート ・桶川市等のいじめに係る現状 （児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査等より） ・いじめ防止に係る取組（関係各課および機関より） ・いじめの防止・早期発見・早期対応のために （桶川市いじめ防止連絡協議会）

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
司会	1 委嘱状の交付
司会	2 開会
会長	3 会長あいさつ(教育部長) <ul style="list-style-type: none"> ・本協議会の役割は、「いじめ防止等のための取組に関する本係機関・団体との連絡調整」であること。 ・本市においては、令和に於いてかからいじめによる重大事態が3件発生するなど、いじめの防止や認知したいじめの解消に向け、令和2年度に、学校を通じて本協議会で作成したパンフレットを令和3年度に、学校を通じて全児童生徒の保護者に配付したこと。
司会	4 委員紹介
司会	5 副会長選出 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局案を了承。副会長に桶川市校長会長 礪田 輝昭 氏、桶川市PTA連合会長 中山 隆元 氏を選出した。
事務局 会長	6 協議等 【・発言 ○質問 →事務局による回答 ⇒回答への追加意見】 (1) いじめ防止対策推進法について <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき説明した。 ・事務局の説明に質問、意見はあるか。 ○いじめの防止等に関する措置として、「懲戒、出席停止制度の適切な運用等」とあるが、実際はどのようなになっているのか。 →出席停止制度については、運用の事例がない。 ⇒今後、運用の事例について、調査研究を進めてほしい。
事務局 会長	(2) いじめ防止対策推進法に基づく桶川市の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき説明した。 ・事務局の説明に質問、意見はあるか。 ○委員からの質疑・意見なし
事務局 会長	(3) 桶川市等のいじめに係る現状 <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき説明した。 ・事務局の説明に質問、意見はあるか。 ○いじめ認知による市内の地域による差はあるか。 →地域差について研究はしていないが、学校間の認知による差がある。 ○幼稚園卒園・保育所卒園等の差によるいじめ認知の差はあるのか。 →幼稚園卒園・保育所卒園等によるいじめ認知の差も特に研究していない。 ○小学校低学年の子にいじめの認知件数が多い理由はどうか。 →低学年の児童は、発達段階から考えると、自己主張をしやすい時期であり、認知につかながっている。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員②	S N S の指導は、保護者から依頼をされれば実施するが、端末は保護者が与えるもので、家庭での指導が大切であると考え。学校だよりで啓発している。「いじめ」「虐待」とともに、子供の人権が守られていないことである。両方とも周りの人々の意識により、認知の違いに差が出る実態がある。
委員③	「いじめ」「虐待」とともに、子供の人権が守られていないことである。両方とも周りの人々の意識により、認知の違いに差が出る実態がある。
委員④	市の取組を知るこができてよかった。それぞれ価値の許容度だけ子供も高めていく必要がある。いじめの前段階が大切である。
委員⑤	教職員が大変な時代である。我が子が大変な時に、よいフォローをしてもらった。そのフォローは大変であったと思う。保護者どうしのSNSで、教職員を責める意見が共有されていた。
委員⑥	我が子の担任が色々な相談に快く応じてくれる。多くの大人の目で見えていくことが、いじめの防止につながる。本協議会が、いじめ防止のためにリードして行ってほしい。
会長	(6) その他 本日はよい意見交流ができ、実りある会議となった。いじめ防止は喫緊の課題であるので、本協議会でよりよくしていきたい。
司会	7 閉会